

第301回平成27年7月月例会 ②

歴史研究・特集横山忠弘著作集 横山 忠弘

(1) 『歴史研究』誌と私

私の自室の本箱には『歴史研究』誌第186号～第331号までは飛び番で、第347号～第371号までは連番で、それぞれ先輩会員の方から戴いたもの、第372号～第626号までは、私が『歴史研究会』に入会して購入し続けた、勿論連番の『歴史研究』誌がある。

(2) 『歴史研究』特集への私の投稿

『歴史研究』では毎号に涉って“「テーマ特集」を企画しております。ふるって原稿をお寄せ下さい”としていたので、手初めに私が「テーマ特集」に投稿した第1号は、第428号の『特集毛利元就の謎』であった。この投稿原稿はその時は所謂没原稿になったが、そこから平成25年1月までの間の『歴史研究』発行回数181冊中、私の『特集』への投稿回数は50回、うち採用38篇、不採用12篇であった。しかし、その不採用になった12編も、『歴史研究』の「史談往来」とか、私が所属する「横浜歴史研究会」の会誌「歴研よこはま」誌上、「中文会」の会誌「ちゆうぶん」誌上、或いは「神奈川歴史研究会」の会報月刊「歴研神奈川」の何れかに掲載されており、総ては陽の目を見ている。

なお、本書の冒頭の「1、壬申の乱と私の歴史観」は、「歴史研究会」及び私が所属する「歴史研究会」所属の「地域歴研」・「テーマ歴研」含め、私が歴史書として発表した第1号であり、内容も通史的であったので(1)として最初に掲載させて戴いた。以下、番号は『発行年次順』とした。

(3) 巻末の3篇について

掲載年月順に(1)「直実公の遺徳と栄光を慕った後裔達の足跡」、(2)「広島原爆を挟んだ私の戦中、戦後体験」、(3)「熊谷次郎直実(蓮生)と後裔達」は自分史と位置づけて、何れも(1)を除いて「歴史研究会」が関与しているので、あえて掲載をお願いした。

以下内容は近く出版予定の総合出版社【歴研】歴史研究【特集】横山忠弘著作集に譲り、ここでは項目のみを列記します。

- 1 壬申の乱と私の歴史観。
- 2 毛利元就の謎一名族毛利氏の苗字が永らえた謎。
- 3 北条時宗の時代—北条時宗出現の背景。
- 4 蒙古襲来の謎—元寇、勝利の真因と神風史観。
- 5 日本史を動かした人物—武士の時代を前倒しした白河法皇。
- 6 鎖国と開国の謎—鎖国と開国は為政者の賢明な選択だった。
- 7 鎌倉権五郎景正の故地専念寺に史碑建立。
- 8 対決の日本史—中巖円月対北畠親房。
- 9 幕末維新日本人の夢—吉田松陰と弟子達の夢。
- 10 鎌倉幕府滅亡の謎—武家政権は7百年続いた。

- 1 1 新撰組の正体—新撰組のうちゲバ。
- 1 2 日露戦争の謎—日露戦争の遠因とその後の展開。
- 1 3 源平の世紀—「吾妻鏡」の義経にその時代を見る。
- 1 4 女帝の時代—女帝の時代は歴史の画期だった。
- 1 5 武田一族の謎—安芸守護武田氏の興亡。
- 1 6 20世紀日本人の遺書—曾祖母の昔話と私の戦中・戦後体験。
- 1 7 日中歴史問題を考える—日中歴史問題の源流、秀吉の朝鮮出兵
- 1 8 後のつく天皇—後がつく天皇と歴史の潮流。
- 1 9 南北朝の内乱—護良親王ここに眠る。
- 2 0 熊谷直実800回忌に子孫集う。
- 2 1 三種の神器の謎—記紀と学術上の三種の神器。
- 2 2 明治天皇とその時代—明治天皇・戸塚宿・柏尾川。
- 2 3 渡来人とは—渡来人から帰化人へ。
- 2 4 大田道灌と江戸城—江戸城の歴史、大田道灌から徳川家康へ。
- 2 5 女たちの幕末維新一天璋院（篤姫）と静寛院（和宮）。
- 2 6 邪馬台国の新視点—邪馬台国は畿内大和だ。
- 2 7 豊臣一族の謎—秀吉の朝鮮征伐と豊臣一族の崩壊。
- 2 8 安政という時代の謎—安政生まれの曾祖父母の生き様と語伝え。
- 2 9 坂東八平氏の謎—今に愛され崇拜されている坂東八平氏。
- 3 0 徳川一族の謎—徳川三百年を支えた将軍と幕閣・側用人。
- 3 1 戦国武将の名誉回復—山中鹿介幸盛の毀誉褒貶。
- 3 2 私の好きな日本の英雄—元寇に勝利した北条時宗。
- 3 3 継体天皇の謎—継体天皇の王朝継承。
- 3 4 鎌倉仏教の謎—時宗開祖—遍と四世呑海。
- 3 5 足利一族の謎—足利尊氏・義詮・義満三代の毀誉褒貶。
- 3 6 紀州熊野の謎—紀州熊野と小栗判官・照手姫。
- 3 7 日本史の虚像と実像—朝鮮征伐に豊臣秀吉の虚像・実像を視る。
- 3 8 天孫降臨の謎—日本神話から日本建国へのアプローチ。
- 3 9 平城遷都千三百年—祝平城遷都千三百年。
- 4 0 吉備の国の謎—記紀、古墳、吉備津神社に視る大和と吉備の王権。
- 4 1 細川一族の謎—時代を乗切った文化人細川頼之と細川藤孝。
- 4 2 戦国三姉妹の謎—苛烈な戦国の世に翻弄された三姉妹。
- 4 3 ライバルの日本史・世界史—保元・平治の乱の平清盛と源義朝。
- 4 4 日本国家成立の謎—倭国から日本国への道程。
- 4 5 藤原王朝栄光と陰謀—道鏡天皇を阻止した藤原一族
- 4 6 小早川一族の謎—小早川氏の元祖土肥実平と小早川隆景正室問田の大方。
- 4 7 赤松一族の謎—足利幕府に寄添ったり反抗したり赤松一族の消長。
- 4 8 平清盛の新研究—皇胤平清盛、波乱万丈の生涯を視る。

- 49 名誉回復の日本史Ⅰ—田沼意次、松平定信それぞれの名誉回復。
- 50 創刊600号と私の歴史研究—『歴史研究』と私。
- 51 中尊寺金色堂の謎—中尊寺金色堂と奥州藤原氏の栄光と惨劇。
- 52 松平一族の謎—徳川家康の遠祖は松平氏女婿の遊行僧。
- 53 濃尾平野治水の歴史—薩摩島津藩の木曾三川分流工事とその行方。
- 54 伝説の中の真実—世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の小栗判官・照手姫物語。
- 55 名誉回復の日本史Ⅱ—平将門の名誉回復振りを視る。

【特別収録】わが著作の原点

- 1. 直実公の遺徳と栄光を慕った後裔達の足跡。
 - 2. 広島原爆を挟んだ私の戦中戦後体験。
 - 3. 熊谷次郎直実（蓮生）と後裔達。
- 【横山忠弘略歴】 (以上)